

十議案を可決

九月定例会市議会が、十七日から開かれ、助役、収入役の選任など十一議案を審議し、そのうち十議案を可決。二十三日閉会されました。

は白井。大正十四年に旧白井村の職員となり合併後は、福祉事務所長や総務課長を経て、昭和三十一年に助役に選任され、現在にいたっています。



助役に小林啓一郎さんを再任

任期満了にともなう、助役の選任について、市では、現職の小林啓一郎さんを十月二日付けで、選任しました。小林さんは六十三歳で、住所

収入役は川瀬平一郎さん



教育委員に若槻さん
教育委員会の委員に、若槻教永さん（四四・五六の町）が再任されました。若槻さんは今回で四期目となります。

名誉市民条例を制定

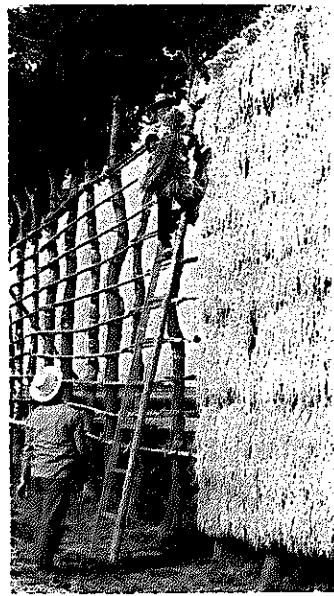
市内に住む人、あるいは市出身者で、社会文化の発展に功績のあった人に「名誉市民」の称号を与え、その功績と栄誉をたたえようと、新たに「白根市名誉市民条例」が制定されました。

名誉市民審議会を設ける

なお、これにともない、名誉市民の推せんについて、必要な審査を行なった意見書をきくための審議会が設けられます。

苦勞がむくわれ表彰

保護司として活躍されている次の方々が表彰されました。
▼法務大臣感謝状 塚田平治さん（桜町）
▼県知事賞状 塚田平治さん（三の町）



今年の作況について、普及所では「好天にめぐまれ、全般的により生育で経過したが、八月

肥の効力

今年もまた「米づくりは土づくりから——」ということが、残念ながら忘れ去られようとしています。
機械化稲作が進むにつれ、稲ワラで堆肥（たいひ）をつくる農家は年々姿を消しています。コンバインに刈り取られたワ

米づくりは土づくりから忘れられる堆肥

しかしながら、これらと同じ気象条件のもとでも、地力の肥よくな田からは、相当の収量が予想されます。

堆肥（たいひ）は、養分の源としての働きはもちろんのこと。空気や水を適当に土にふくませる働き、養分を作物に吸収させるための微生物や地中動物の供給源としての働きなど——数多くの役割を持っています。

広範囲な堆肥の働き

堆肥（たいひ）は、養分の源としての働きはもちろんのこと。空気や水を適当に土にふくませる働き、養分を作物に吸収させるための微生物や地中動物の供給源としての働きなど——数多くの役割を持っています。



▲今年もまた、田のあちらこちらで、大切な稲ワラが焼却されています。

第7回 畜産共進会



- ▷とき 10月7日（火）午前9時30分から
- ▷ところ 白根市農協ガソリンスタンド脇
- ▷出品家畜 乳牛、豚
- ▷行事 畜産器具、器材の展示、最優秀家畜の予想投票、牛乳試飲会、食肉試食会

市民登山

紅葉の鑿梯山へ登ろう！
日時 十月十二日（日）午前六時、北越銀行前出発
申し込み 市内各スポーツ店

人権 合同相談を開設

▽とき 10月17日午前10時～午後3時まで
▽ところ 厚生会館和室

農村青年国内留学生を募集

市主催による恒例の国内留学生をたたいま募集中です。
▽応募できる人 市内に住む農業青年で、満十八歳から二十五歳未満までの人。
▽研修期間 十月下旬から五十一一年一月末と三月末まで。
▽申し込み 十月十三日までに教育センター（電話二八〇〇）へ申し込みください。
なお、詳しいことも同センターへおたずねください。